



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第16回 「授業の振り返りと 花壇管理活動の Q&A」

日時：令和4年1月20日（木） 9：30～12：30

会場：四季の香ローズガーデン実習地花壇、光が丘区民ホール

今回の講座の流れ

始めにガーデンのお手入れを行った後、実演をまじえてコンテナガーデンのコツを学びました。その後、冬に楽しめる街の中の自然について講義を受け、これまでの講座の振り返りを行いました。



各プログラムの様子



花ガラを残したガーデンの様子

ガーデンのお手入れ

寒い冬には、落ち葉や花ガラが葉を寒さから守ってくれます。そのため、この日は普段なら取り除いてしまうものも残してお手入れを終えました。

まちを彩るコンテナガーデン

コンテナガーデンのデザインや植え付けのコツについて、学習しました。

コンテナガーデンでは、花壇とは異なり、植え付けを行うコンテナの大きさや高さ、容量なども考えながら植物選びを行うことを学びました。



講義の様子

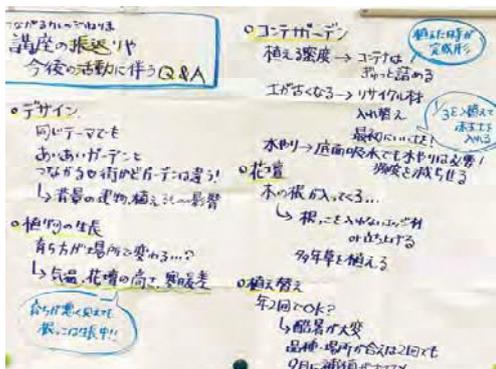
街の中で楽しむ小さな自然

花壇での作業が少なくなる冬に見られる、冬芽・霜柱・モグラ塚の楽しみ方について講義を受けました。

講座の振り返りや 今後の活動に伴う Q&A

これまでの講座の様子や学習内容を写真で振り返りました。

Q&A では、コンテナガーデンでの土のリサイクル方法や、植替えの頻度など、気になったことを自由に質問しました。



Q&A の内容

「コミュニティ・ガーデン」とは？

コミュニティ・ガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティ・ガーデンです。

今回の キーワード



「冬芽は植物たちの 春待つ準備」

(NPO birth 矢口)

冬は植物にとっても辛いもの。寒さや乾燥で生育に適さない冬の間、樹木は休眠して過ごします。春に葉や花を出すために、その元になるものを小さな芽にしまい込んでいるのです。講座の中では樹木を中心にご紹介しましたが、ガーデンの花たちも、冬の間はじっと耐えてエネルギーを蓄えています。

植物や動物の中には、気温の上昇よりも光に反応して冬眠から目覚めるものが沢山います。立春を過ぎると、気温は低いものの、だんだんと雨も多くなり、動植物たちも少しずつ動き出します。日脚も伸びてきて、「光の春」と呼ばれる頃になります。人が寒さに震えていても、芽吹きや、花を咲かせて春の到来を知らせてくれるのです。

今月のお花紹介



ランタンキュラス



赤・紫・白・黄色など、花色が豊富な多年草です。秋に球根を植えると、3月～5月にかけて、色鮮やかな花を咲かせます。